

—— 精神科 ——

統合失調症1（病態・症候）

暗記用テキスト



ATLAS

テキストご利用ガイド

A. テキストの構成

①ポイント解説部

- ・テーマの重要知識を網羅したパート。医療系国家試験の重要知識を1ページに凝縮しています。オレンジにて強調された Keyword は、国家試験の問題を解く際に特に重要となる知識です。
- ・Keyword 左上には Keyword No. が割り当てられ、「②チェックアップ〈Checkup〉」と対応します。
- ・さらに、Keyword No. に紐付けられたプライオリティタグ〈Priority tag〉は重要度を示します。
(→「D. テキスト記法」)

②チェックアップ〈Checkup〉

- ・ポイント解説部の Keyword と一対一対応になった、一問一答形式の問題集パート。"Checkup"は「健康診断、総点検」を意味し、文字通りすべての Keyword を確認できます。
- ・ポイント解説部では、しばしば前後の文脈・書き込みが Keyword を予測するヒントとなります。一問一答形式は、これらヒントを介入させない高負荷アウトプット〈Heavy output〉を実現します。
- ・各設問には Check Box を付しました。誤答時チェック方式によって周回すれば、覚えられない Keyword に多くのチェックが付くため弱点が定量化されます。チェックの多い設問のみを復習に充てることにより、圧倒的に効率の良い復習となるでしょう。
(間違えた際にチェックを付ける)

③問題演習

- ・医療系国家試験にて実際に出题された過去問から、演習効果の高い良問を厳選しました。
- ・講義動画視聴の際は、講師の解説が始まる前に一旦動画を停止し、自力で解いてみましょう。

④基準値一覧

- ・記憶すべき基準値を一覧にしています。無秩序な数字の羅列を正確に記憶することは至難の技。繰り返し何度も何度も見返すことによって、アタマに数値を刻み込みましょう。

B. テキストの種類

- ・目的の用途に機能を特化させた、授業用、記入用、暗記用の3種のテキストをご用意しています。
- ・テキストごとにポイント解説部の仕様がわずかに異なります。その他の内容・構成は同じです。各自の好みや利用目的に応じて使い分けてください。

①授業用テキスト

- ・ベーシックなテキスト。Keyword 部分は既に記入された状態です。
- ・講義動画視聴の際は、本テキストまたは「②記入用テキスト」のいずれかをお使いください。

②記入用テキスト

- ・穴埋め書き込み形式のアウトプットに特化したテキスト。Keyword 部分が空欄になっています。
- ・「講義動画を視聴しつつ、本テキストの空欄を埋めていく」といった受講スタイルも効果的です。Keyword を目で見ても(≡インプット)書き込む(≡アウトプット)作業が加わるためです。

③暗記用テキスト

- ・赤シート併用形式のアウトプットに特化したテキスト。「①授業用テキスト」と比べて Keyword の色が薄いため、赤シートを併用した際により消えやすくなっています。
- ・本テキストにはポイント解説部の Keyword 自体にも Check Box を付しました。

C. 学習の流れ

- ・3つの段階からなる効果的な学習方法を以下に示しました。むろん、以下は一例に過ぎません。最適な学習方法には個人差があります。適宜カスタマイズし、自身の最適解に近づけてください。

①インプット期〈Input phase〉

- ・予習は必要ありません。まずは講義動画を視聴し、ポイント解説部の理解に努めます。その際、板書や講師の発言を適宜書き込んでいきましょう。復習時に理解の助けとなるはずです。
- ・初めから枝葉末節まで理解するのは困難です。大まかな全体像の把握を優先してください。

②低負荷アウトプット期〈Light output phase〉

- ・記入用テキスト（穴埋め）や暗記用テキスト（赤シート併用）によるアウトプットに移行します。
Keyword 前後の文脈・書き込み等をヒントにしながらアウトプットに取り組みましょう。
（または授業用テキスト）

③高負荷アウトプット期〈Heavy output phase〉

- ・チェックアップ〈Checkup〉によるアウトプットに移行します。ここでは一問一答形式により、Keyword 前後の文脈・書き込み等のヒントを介入させずにアウトプットに取り組みましょう。
- ※②と③における下線部の差異を明確に意識して取り組むと効果的です。

D. テキスト記法

①プライオリティタグ〈Priority tag〉

- ・Keyword にはプライオリティタグ〈Priority tag〉を紐付け、重要度の指標としました。

黒タグ	1	最重要	テーマの理解に必須の知識 複数の医療系国家試験にて問われやすい
白タグ	2	重要	テーマの理解を深める知識 一部の医療系国家試験にて問われやすい

②括弧類

- ・括弧類は以下のルールに基づいて使用します（医師国家試験ガイドライン表記に一部準拠）。

< >	直前の語の同義語・略語	e.g. 世界保健機関〈WHO〉
()	直前の語の説明・限定	e.g. 外耳（耳介、外耳道、鼓膜）
{ }	省略しても意味が同じ語	e.g. タンパク {質}
[]	同一括弧類の入れ子表記	e.g. 薬剤耐性〈antimicrobial resistance [AMR]〉

③略語

- ・テキストおよび講義内にて使用頻度の高い略語を以下にまとめました。

cf.	confer	～を参照せよ	CC	chief complaint	主訴
e.g.	exempli gratia	例えば～	n.p.	nothing particular	異常なし (特記事項なし)
i.e.	id est	すなわち～	f/u	follow up	経過観察
Dr	doctor	医師	s/o	suspect of	～の疑い
Ph	pharmacist	薬剤師	r/o	rule out	～を除外
Ns	nurse	看護師	d/d	differential diagnosis	鑑別診断
A, V, N	artery, vein, nerve	動/静脈, 神経	Sx.	syndrome	～症候群

統合失調症 1 (病態・症候)

【Point!】

統合失調症の病態

- ① 思考・知覚・自我の異常や陰性症状が持続する病態。¹モノアミンの関与が考えられている。
²緩徐発症が多い。発症率は100~200人に1人と国ごとに大差はなく、家族性がある。
- ② 類似疾患として急性一過性精神病性障害、統合失調感情障害、薬剤性統合失調症、続発性統合失調症がある。

統合失調症の症候

- ③ 陽性症状（本来ないはずのものがある）と陰性症状（本来あるはずのものがない）に大別される。
 ※高齢発症では陽性症状が強い傾向にある。

統合失調症の陽性症状（上段）・陰性症状（下段）

思考の異常	³ 妄想 気分、妄想 ⁴ 知覚 *1、妄想 ⁵ 着想 関係妄想、被害妄想、注察妄想、憑依妄想、虚無妄想、被毒妄想、 追跡妄想、迫害妄想、嫉妬妄想、血統妄想、疾病妄想
	自生思考、 ⁶ 連合弛緩 *2、滅裂思考、言葉のサラダ、言語新作、 思考 ⁷ 途絶、作為思考
知覚の異常	⁸ 幻聴 *1、幻視、幻嗅、体感幻覚、機能性幻覚、考想化声*1
自我の異常	⁹ 作為 体験くさせられ体験 *1、思考 ¹⁰ 奪取 *1、考想察知、考想 [被影響] <考想> <考想> 干渉、考想吹入、考想 ¹¹ 伝播 *1 <考想> <考想>
感情の異常	情動表出低下、疎通性低下、感情鈍麻*2、 ¹² 両価性 *2 ambivalence
意欲の異常	意欲低下、自閉*2、非社交性、常同 autism

※Schneiderの¹一級症状、Bleulerの^{4A}基本症状（4A）（*2）は診断的価値が高い。

- ④ 上記のほか、独語、空笑、興奮、不眠などもみられる。
 ※精神発達遅滞や知能低下、記憶障害はみられない。

統合失調症の症候（詳細）

思考の異常	妄想気分	周囲が不気味に感じ、何か大変なことが起こると考える。
	妄想知覚	ある知覚に対して了解できない意味付けを行う。
	妄想着想	突然了解できない発想をする。
	関係妄想	周囲の事項と自分自身を関連付ける妄想。
	注察妄想	他人に監視されているという妄想。
	憑依妄想	自分に霊が取り憑いているという妄想。
	虚無妄想	自分は空虚で実際には存在していないという妄想。
	被毒妄想	自分の食事に毒が盛られているという妄想。
	追跡妄想	他人に尾行されているという妄想。
	迫害妄想	世間の人々から嫌われ、迫害されているという妄想。
	嫉妬妄想	配偶者が浮気しているという妄想。
	血統妄想	自分は高貴な血統だという妄想。
	疾病妄想	自分は病気だという妄想。
	自生思考	自分のものでない考えが勝手に浮かんでくる。
	連合弛緩	関連のない観念が浮かんでまとまらない。
	滅裂思考	話題が飛び、会話はまとまりを欠き、了解不能。
	言葉のサラダ	一貫性のない言葉の羅列。
	言語新作	新しい単語を作り出す。
	思考途絶	急に思考が途切れる。
	作為思考	思考が外部から支配され、自分で考えているという実感が無い。
知覚の異常	体感幻覚	身体の異常感覚（「脳が溶けている」）。
	機能性幻覚	現実の知覚と並行して幻覚が起こる。
	考想化声	考えが声となって聞こえる。
自我の異常	作為体験	命令する声が聴こえ、誰かに操られている。
	思考奪取	自分の考えが抜き取られる。
	考想察知 <small>（考想）</small>	自分の考えが他人に察知される。
	考想干渉 <small>（考想）</small>	自分の考えが他人に干渉される。
	考想吹入 <small>（考想）</small>	他人の考えや命令が頭の中に吹き込まれる。
	考想伝播 <small>（考想）</small>	自分の考えが周囲の人に伝わる。
感情の異常	感情鈍麻	感情が鈍麻し平板化する。
	両価性	同一の事柄に対して相反した感情を持つ。
意欲の異常	自閉	社会から離れて、自室に閉じこもる。
	常同	同じ行動を繰り返す。

チェックアップ 〈Checkup〉

Keyword No.	Question	Check Box
統合失調症の病態		
1	統合失調症の病態への関与が考えられる物質は何か。	□□□□□
2	統合失調症に多いのは緩徐発症、急速発症のいずれか。	□□□□□
統合失調症の症候		
3		□□□□□
4	統合失調症にてみられる一次妄想を3つ挙げよ。	□□□□□
5		□□□□□
6	統合失調症の症候にて関連のない観念が浮かんでとまらない思考異常は何か。	□□□□□
7	統合失調症の症候にて急に思考が途切れる思考異常は何か。	□□□□□
8	統合失調症にて最もみられやすい知覚異常は何か。	□□□□□
9	統合失調症の症候にて命令する声が聞こえ誰かに操られていると感じる自我異常は何か。	□□□□□
10	統合失調症の症候にて自分の考えが抜き取られると感じる自我異常は何か。	□□□□□
11	統合失調症の症候にて自分の考えが周囲の人に伝わると感じる自我異常は何か。	□□□□□
12	統合失調症の症候にて同一の事柄に対して相反した感情を持つ感情異常は何か。	□□□□□

問題演習

【Dr】〈115C33〉

統合失調症の一次妄想と考えられる患者の言葉はどれか。3つ選べ。

- a 「（突然）自分は聖徳太子の子孫であるとわかった」
- b 「（食事の途中で）誰かが自分の食事に毒を盛っている」
- c 「（漠然と）何か恐ろしいことが起こりそうでひどく怖い」
- d 「（電車の客が会話する様子を見て）自分の悪口を話している」
- e 「（隣家を見て）あの玄関の形は明日自分が死ぬことを意味している」

【Ph】〈99-60〉

統合失調症の陰性症状として正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 妄想 2 幻覚 3 失見当識 4 食欲亢進 5 意欲欠如

【Dr】〈112D35〉

21歳の男性。奇妙な行動をとるため両親に伴われて来院した。1週間前に大学院の入学試験を受けてから不眠が続いていた。本日朝から駅前のベンチの周りを独り言を言いながら約3時間ぐるぐると回っていたことで警察に保護されたため、両親に伴われて近くの総合病院を受診した。身振りや表情が乏しく、一点を凝視しており視線を合わせようとしなない。急ににやにやするかと思うと、おびえたような表情に変わる。黙ったまま何かに聞き入ってうなづく様子がみられ、質問には全く返答することはないが、唐突に「なるほど」「だからか」などとあたかも対話するように短く独語する。これまでに発達や適応上の問題はない。血液生化学所見、頭部MRI及び脳波で異常を認めない。

この疾患にみられる症状はどれか。

- a 感覚失語 b 行為心迫 c 連合弛緩 d 小動物幻視 e 記銘力障害

基準値一覧

血液学検査		生化学検査	
赤沈	2 ~ 15 mm/1 時間	総蛋白	6.5~8.0 g/dL
赤血球	380 ~ 530 万	アルブミン	67 %
Hb	12 ~ 18 g/dL	α_1 -グロブリン	2 %
Ht	36 ~ 48 %	α_2 -グロブリン	7 %
MCV	80 ~ 100 fL	β -グロブリン	9 %
網赤血球 (割合)	0.2 ~ 2.0 %	γ -グロブリン	15 %
網赤血球 (絶対数)	5 ~ 10 万	アルブミン	4.0 ~ 5.0 g/dL
白血球	4,000 ~ 9,000	総ビリルビン	1.2 mg/dL 以下
桿状核好中球	2 ~ 10 %	直接ビリルビン	0.4 mg/dL 以下
分葉核好中球	40 ~ 60 %	間接ビリルビン	0.8 mg/dL 以下
好酸球	1 ~ 7 %	AST	10 ~ 40 U/L
好塩基球	0 ~ 1 %	ALT	5 ~ 40 U/L
単球	2 ~ 8 %	尿素窒素	8 ~ 20 mg/dL
リンパ球	25 ~ 45 %	クレアチニン	0.5 ~ 1.1 mg/dL
血小板	15 ~ 40 万	尿酸	2.5 ~ 7.0 mg/dL
免疫血清学検査		空腹時血糖	70 ~ 110 mg/dL
CRP	0.3 mg/dL 以下	HbA1c	4.6 ~ 6.2 %
動脈血ガス分析		総コレステロール	150 ~ 220 mg/dL
pH	7.35 ~ 7.45	トリグリセリド	50 ~ 150 mg/dL
PaO ₂	80 ~ 100 Torr	LDL コレステロール	60 ~ 139 mg/dL
PaCO ₂	35 ~ 45 Torr	HDL コレステロール	40 mg/dL 以上
HCO ₃ ⁻	22 ~ 26 mEq/L	Na	136 ~ 145 mEq/L
		K	3.6 ~ 4.8 mEq/L
		Cl	98 ~ 108 mEq/L
		Ca	8.5 ~ 10.0 mg/dL
		P	2.5 ~ 4.5 mg/dL
		Fe	60 ~ 160 μ g/dL